

**『ゼロエミッション東京の実現』
『Z E V 普及プログラム』
への貢献に向けて**

**株式会社高島屋
2020年2月21日**

グループ全社でSDGsの考えを理解し

環境・貧困など社会課題を強く意識して、企業の持続的成長を実現



高島屋グループでは、東京都が目指す「**ゼロエミッション東京**」の実現に賛同し、**CO2クレジット**を高島屋約6万t、東神開発1.8万t、合計約**7.8万t**を2019年6月に、**寄付**しました。



- ◆ 法制化に先行して、2020年4月1日からプラスチック製レジ袋および紙製食料品用手提袋の素材切り替えと有料化を実施します。
- ◆ プラスチック製のレジ袋は、植物由来の原料を90%配合したバイオマスプラスチック製に変更します。
- ◆ 紙製食料品用手提袋をFSC^{*}認証材に切り替えます。
- ◆ エコバッグの利用や手持ちの買物袋へのおまとめを呼びかける取り組みを進めて、環境に配慮したライフスタイル提案を一層推進してまいります。

* 森林の環境保全に配慮し、地域社会の利益にかなない、経済的にも継続可能な形で生産された木材が原材料



美しい地球を次世代へ



■ 当社の取り組み事例

＜エネルギー＞

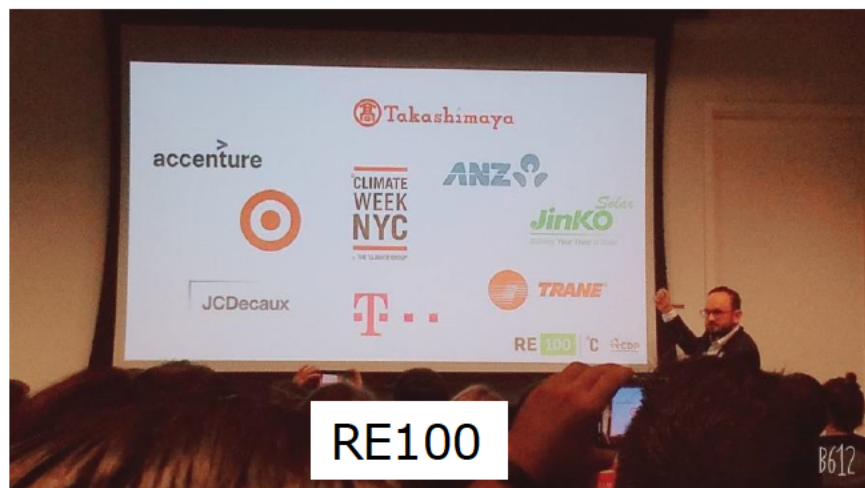
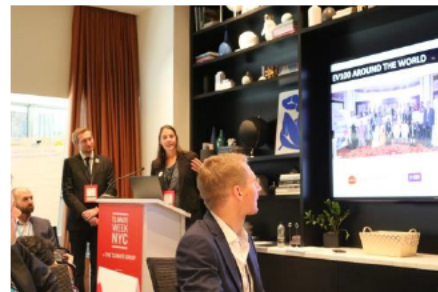
4

◆ 高島屋グループは、脱炭素社会の実現に取り組む**日本気候変動イニシアチブ（JCI）**、**日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）**に加盟し、気候変動問題の解決につながる活動を推進しています。

◆ その一環として、**2050年までに再生可能エネルギー100%、2030年までにEV化・充電設備拡充**を目指す『**RE100**』『**EV100**』の国際イニシアチブに、2019年9月に参加しました。

クライメートウィーク2019 in NYCにおいて、RE100・EV100メンバーズフォーラムに参加。新規メンバーとして紹介されました。

CLIMATE
WEEK
NYC



RE100



EV100

2030年までのEV化・充電設備拡充に向けて以下を検討しています

◆ 当社使用車両全国約500台を2030年までにEVに切り替えていく



日本橋高島屋S.C.送迎車



玉川高島屋S・C送迎バス



外商営業車両

◆ 当社駐車場に、都普及プログラムと連携してEV充電設備を拡充する



玉川高島屋S・C充電設備

単位：台	直営駐車場台数	契約駐車場台数	計
日本橋高島屋S.C.	546	900	1,446
新宿高島屋	754	477	1,231
玉川高島屋S・C	1,623	0	1,623
ガーデンアイランド	228	0	228
立川高島屋S.C.	232	1,381	1,613
若葉ケヤキモール	320	0	320
都内計	3,703	2,758	6,461

◆ 現状の課題

- 充電設備の設置にあたり、**場所・費用面で支障・制約が多い**
 - **車両の選択肢**や営業外出先での**EV充電設備**など、**インフラが少ない**
- ⇒ **東京都知事、環境局、東京都道路整備保全公社、EV100参加各社様等のご支援のもとで、EV100の達成と、ゼロエミッション東京の実現・ZEV普及プログラムに貢献していきたい。**

ご清聴ありがとうございました

